

事業所名

おりーぶSocial

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

10日

法人（事業所）理念	親切かつ良質な福祉サービスを継続して提供していけるようなシステム作りを目指し、それを実践することによって、地域住民から信頼され、地域のメンタルヘルス活動の拠点として役割を果たします。		
支援方針	児童一人一人に対し各指導員が真摯に向き合うことを重視しています。短期的には学校などの社会場面における集団適応、学習活動への参加継続を目指します。長期的には自立した生活を目指します。自主性を重視し、訓練への参加を強制するような対応はいたしません。また、学校と情報共有を行い適切な療育を行います。		
営業時間	【児童発達支援】月～土 10時～18時 【放課後等デイサービス】月～土 10時～18時	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	プレイルームを広くして体が動かしやすい環境にして健康の維持に努めています。また、様々なイベントを企画して人に対する協調性の育成にも努めています。	
	運動・感覚	走る、投げるなどの粗大運動だけではなく、療育では指先を使った微細運動を取り入れます。更に年齢によって異なりますが、時間を定めて運動や感覚の培うための課題に取り組むことができるように支援します。	
	認知・行動	年齢や個人に合わせて学校での課題に取り組めます。また、日常生活に必要な練習も行います。	
	言語 コミュニケーション	動作模倣、口形模倣、音声模倣に取り組めます。模倣を通して視線合わせや指示従事などコミュニケーションに重要な行動を練習します。痲痺対応に取り組めます。痲痺を起こさず適切な言動で要求できることを目標とします。	
	人間関係 社会性	遊びを通じて対人関係を良好に維持する技能を身に付けていきます。特定の場面で発話がなくなる緘黙の緩和に取り組めます。家庭から学校まで幅広い場面に適応できることを目指します。	
家族支援	過程における取組を具体的に提案し、記録を通して支援の過程を客観的に確認し助言していきます。	移行支援	学校や園と連携を図るために、必要に応じて支援内容などの具体的ななかかわり方について情報共有をします。
地域支援・地域連携	家庭に対して最適な支援が行えるように必要に応じて関係機関と連携を図ります。	職員の質の向上	定期的にスタッフミーティングを実施し、指導の際に発生した問題点を全員で解決に向けて話し合います。利用者の行動を随時記録し、問題が発生した際は臨時でミーティングを開催し解決に向けて取り組めます。
主な行事等	避難訓練、買い物練習、定期的なイベント		